



発行日 平成26年6月 第76号

日頃、地域医療連携にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

四医療機関連絡調整会議は、年一回、横手市の生活保護の適正受給を図るため、横手市福祉事務所の主催により、開催されています。今年度は、生活保護の動向の他、横手市地域包括支援センターより、在宅医療推進事業についても報告が行われました。

今回は、その一部をお知らせいたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

## 四医療機関連絡調整会議の報告

日 時：平成26年5月23日（金）15時30分～ 於：横手セントラルホテル  
参加施設：市立横手病院、市立大森病院、横手興生病院、平鹿総合病院  
横手市地域包括支援センター、横手市福祉事務所  
参加者：各施設の医療福祉・地域連携担当者 計21名



### 報告事項

#### 1. 生活保護の状況について

- 平成25年度の横手市の被保護世帯は650世帯、人員は882名であり、保護率は、横手市の人口の0.92%である。動向に大きな変化はない。
- 働き盛りの年代の受診が増加してきている。
- 就労支援件数が増加し、就労決定につながっている。（支援対象108件）

#### 2. 在宅医療連携拠点事業について（横手市地域包括支援センターより報告）

##### <平成25年度活動内容>

- 多職種連携研修会（夕暮れ勉強会）の開催
- 市民向け在宅医療普及講座の開催・広報
- 「わたしの覚書きノート」（エンディングノート）の作成 など

##### <目次>

1. わたしのこと
2. わたしの歩み
3. これからのわたし
4. わたしに何か起こったとき
5. 大切な人への伝言



わたしの覚書きノート

##### <今後の課題・取り組み>

- 市民の意識改革
- さらなる多（他）職種連携の強化
- 情報共有ツール・システム等の検討
- 住民、医療、事業所別の看取りガイドラインの作成 など

#### 4. わたしに何か起こったとき

##### 病名や病状の告知について

- ◎病名・病状の告知について
- 病名・病状を全て、わたしに伝えてほしい。
  - 病名は伝えてほしいが、病状や余命は伝えてほしくない。
  - 病名・病状は伝えてほしくない。
  - 家族のその時の判断に任せる。

- ◎延命の治療について
- できる限りの延命治療を望む。
  - 意識が回復しないようであれば、延命治療をせずに尊厳死を望む。
  - 痛みを取り除く治療を望む。
  - 家族のその時の判断に任せる。

- ◎臓器提供について
- 希望する ⇒ 臓器提供登録カードの有無  有  無
  - 希望しない

- ◎献体について
- 希望する ⇒ 献体登録の有無  有 (登録先 )  無
  - 希望しない

献体とは 医学の教育・研究に役立てるためにご自分のご遺体を提供することです。

##### ◎その他医療について自分の思いがあれば

{ }  
..... (記入日 年 月 日)